

保護者等からの事業所評価の集計結果

公表	
事業所名	てらびあぼけつと西田辺教室
公表日	2024年 11月 20日

利用児童数 27

回収数 16

	チェック項目	はい	どちらとも いらない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16				運動もできる十分なスペースです	引き続き安全面に配慮し、スペースの確保をしていきます	
	2 職員の数配置は適切であると思いますか。	16				マンツーマンでレッスンを行っていただけるのが助かります	マンツーマンのメリットを感じていただけているようで感謝いたします。メリットだけでなく、デメリットへの対応も考えていきます	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15			1	レッスンをを行う部屋、運動や遊びを行う部屋等、子どもが切り替えできるように工夫された空間になっています	どのお子さまにもわかりやすいよう、また室内は集中して取り組めるような環境設定を引き続き行っていく予定です	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こどもの活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16				とても清潔できれいな空間で子どもも居心地がよいようです	玄関が狭いため、お送りいただいたときやお迎えの時には室内にも案内しています。今後も清掃や整理整頓に気を付け、環境美化に努めます	
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15	1			先生方も研修をきちんとされており、専門性のあるアドバイスを参考にさせていただいています	家族支援の時間を取ることで、お子さまの普段の様子を保護者様よりたくさん聞くことができようになりました。今後も共有したときながら都度一緒に考えていきたいと思っています	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	16				一人ひとりにあった支援を組んでいただいています	カリキュラムチェックリスト825などを用いながらお子さまに必要な段階を今後も取り組んでいきます	
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	16				毎回困りごとを事前にヒアリングしていただき、計画書を丁寧に作成し、面談を行っていただいています	いつもお時間をいただきましてご協力ありがとうございます。今後もお子さまの生活がより一層よくなることを想定して支援計画を作成していきます	
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16				定期的にヒアリングと面談を行っていただき、その時に必要な支援やアドバイスをいただけて、子どもも成長できていて嬉しそうです	ガイドライン項目は支援計画に記載しており、都度説明をさせていただいておりますが、専門的な内容でもありますので、ご不明点があればお声がけください	
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16				沿った支援を行っていただいています	お子さまの個人ファイルにコピーを入れて、職員がいつでも見直すことができようになっています。大き直しがないように今後ともめます	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16				成長の段階に合わせて都度プログラムを組んでいただいています	「いつでも、どこでも、だれでも」を目指して、繰り返し行う場合もありますが、意図をご理解いただきありがとうございます	
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもも活動する機会がありますか。	5	1	3	7	春から幼稚園に通っているため必要を感じていません	地域の園と協働できることがあれば検討していきます	
	保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16				初めにも、変更があった際にも都度丁寧に説明していただきます	ご契約時に一通りのお話をさせていただいております。機会に合わせて、都度お伝えさせていただきます
		13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16				困りごとに対して支援内容を組んでいただいています	保護者様のご要望とお子さまの今後の発達をどのように力添えができるか？という観点で計画書を作成・説明させていただきます
		14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレントトレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	15			1	毎回様子を伝える時間をとっています	家族支援の時間や、保護者会なども行っています。たくさんの方にご参加いただき感謝申し上げます
		15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	16				口頭や連絡帳で毎回伝えあえていただいております	利用ごとに貴重なお時間をいただきありがとうございます。お子さまの今後の成長を共有させていただき貴重な時間をなっております
16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。		16				いつもありがとうございます！アドバイス等、専門的なことも参考にさせていただいています	ごちこそ、いつもありがとうございます！以前よりもたくさんのお時間を費やして共有できているため、より支援に生かされています	
17 事業所の職員から共感的に支援がされていると思いますか。		16				どうすればよくなるか、一緒になって考えて下さる姿勢が伝わります	解決策をお伝えするだけでなく、ご家族の生活の様子も想像しながらご提案するように気を付けています	
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされているか。		10	2	3		保護者会やイベントを定期的に企画や開催をされており、また参加させていただきたいと思っております	保護者会や親子イベントなど、機会を設けて取り組んでいます。今後もご参加いただきやすい形を模索して提案できればと思っています	
19 こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れを迅速かつ適切に対応されていますか。		16				口頭はもちろん、LINEでの連絡のやり取りが可能でもっとも助かっています	LINEは時間を問わずメッセージをお送りいただけますので、ご都合に合わせてご利用ください。その他、一斉配信などもありますので都度ご確認くださいねと思います	
20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。		16				毎回連絡帳にとても丁寧に様子を書いてくれていて、とても楽しみに拝見しています	連絡帳では書ききれないことや、実際の様子などは実物をお見せしたり、動画で共有するなど工夫しています	
21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。		16				インスタやLINE、ブログなどで連絡や活動を積極的に発信されていて、楽しく拝見させていただいています	SNSの活用もしていますが、お子さま個人のご様子は保護者様へ動画や写真を共有していただいています	
22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14			2			SNSの写真掲載については契約時に可か不可かを確認し、可の方のみお顔にスタンプを押して掲載するよう対応しています	
満足 度	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15			1		玄関に閲覧していただけるものを準備しています。内容も随時更新していますので、お時間があれば自由にご覧ください	
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	14			2		避難訓練を半年に一度行っています。消防署に水消火器をお借りして、消火訓練を行い、お子さまにも見ていただきました	
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16					他にも大阪市の救命救急講座を職員全員受講するなどして取り組んでいます	
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13			2		事故予防対策を行っています。万一、事故が発生した際には保護者様への連絡、その場の救急対応、自治体への報告なども進めています	
満足 度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	16				長く通所して、先生方の名前を覚え、場所も安心できる空間のようです	嬉しいお言葉ありがとうございます。保護者様にも安心してお預けいただけるように療育の様子を動画に撮るなどして様子を見ていただけるように工夫しています	
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	15	1			休みの日も「てらほげ〜」と書いていて楽しんでいるようです。「今日てらほげだよと伝えると「やった〜」と笑顔になり、とても楽しみなようです	楽しみにしてもらっているようで、とても嬉しいです。今後も楽しくご利用いただけるよう職員一同努めます	
	29 事業所の支援に満足していますか。	16				小学校に向けての就学相談等もよろしくお願ひします。支援内容はもちろん、先生方が笑顔、お人柄の優しい方ばかりで親子ともに毎回の通いの楽しさをさせていただいております	就学相談にも対応できるように情報を集めて取り組みたいと思います。支援にもご理解をいただき、ありがとうございます。今後もお子さまや保護者様に寄り添えるよう、努めます	

事業所における自己評価結果						
公表						
事業所名	てらびあぼけつと西田辺教室			公表日：2024年 11月 20日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		指定基準に基づき、スペースを確保している	物品によって狭くならないように整理整頓を普段から意識して行う
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		基準に沿った配置をしている	
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		行動面の環境設定はイラストや写真で行っている	土のお子さまにもわかりやすいよう、また個室内は集中して取り組めるような環境設定を行う 無回答：1
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもの活動に合わせた空間となっているか。	5		整頓、清掃、消毒は毎日行い、清潔に保つよう気を付けています	不要なものは迅速に処分するなど、適宜行っていく
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		静養室として使用できるように整えている	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3		職員会議は基本全員参加だが、やむを得ず参加できなかった場合は議事録を読み、管理者兼児発管から補足説明を受けている。日々の朝終礼でも意見交換できている	制度上、新たに必要となったものも振り返りと改善に取り組めるようにする 無回答：2
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		公表はSNSでお知らせしたり、や教室入り口に掲示したりするなど工夫している。貴重なご意見は真摯に受け止め、改善に役立っている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		職員会議だけでなく、普段の会話でも共有を行っている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3		本部SVIによる内部監査を行い、業務改善につなげている	第三者評価は行っていませんが、本部SVIによる内部監査を行っている 無回答：2
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		内部研修や外部研修など、知識が偏らないように気を付けている。また区の自立支援協議会でも独自の研修を行っており、積極的に参加している	外部の研修にも積極的に参加していきたい 無回答：1
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		情報公表制度に基づいて、支援プログラムを公表します	どのように公表されているか知らなかったため、この機会に知りたい
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5		適宜アセスメントを行い、ガイドラインに沿って支援計画を作成している	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		朝終礼で情報を共有し、意見交換をしている	
	14	児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		更新した計画書は利用者の個人ファイルに入れていつでも見られるようにしている	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		インフォーマルのアセスメントを使用して記録を振り返りながら支援を行っている	
	16	児童発達支援計画には、「児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のわら及び支援内容を踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		支援計画書には各領域および支援内容を踏まえて、具体的な目標と支援内容を記載している	支援計画を隔々までじっくり読んだことが無かったため児発管に聞いて確認したい 無回答：1
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		担当職員及び、職員間で企画や振り返りを行いながら進めている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	1	個別プログラムはアセスメントに基づいて行っている。	はじまりの会は絵本に偏ってしまっているため、色々な活動に取り組みたい
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5		支援計画には集団活動や日常生活での目標も設定して優先順位を考えながら取り組んでいる	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		毎日の朝礼でその日の役割分担を決めている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか。	5		特変事項などは療育終了後すぐに職員間で情報共有をし、利用者の個人ファイルに記載、日報にも記載するようにしている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		療育データ、連絡帳、定期的なアセスメントを行い、利用者の支援につながるよう活用している	
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3		保護者様との日々のお話の中でお互いに利用者児童の様子を共有し活用している	モニタリングは職員が行う機会がないため、実感があった(児発管が行っている) 無回答：2	

関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3		主に児発管が参加しているが、児発管以外の職員が参加するともある	誰が参加しているのか？参加するにあたり資格が必要なのか？など知らないことが沢山あると思った 無回答：2
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2		全員ではないが、おさまによって取り組んでいる	連携はしているが、もう少しつながりを強く持ってもいいのかもしれない 無回答：3
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	1	できる範囲でおこなっている。保護者様からのご要望には今後も応じていきたい	一部の子ども園には直接行かせてもらったり、来ていただいたりしているが全員ではない
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	2	サポートブックの作成や、区の自立支援協議会(児童の部)で話を聞いたりすることができる	全員に取り組みができていません
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受けられる機会を設けているか。	3	1	センターを利用しているおさまの連携は取れていると思う	他事業所ともつながりをもって行き来できると思う。日常的なスーパーバイズや助言をいただく機会はないので今後工夫していきたい
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		4	特定の幼稚園(保育園、認定こども園)とのかわりはないが、親子イベント時に他児と触れ合う機会は少なからずある	地域交流はなかなか難しくできないと思う。意図した交流はしていない。事業所として機会はないが、ほとんどのおさまが幼稚園やプレ幼稚園に通っている
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	5		毎利用時に家族支援の時間を取り、保護者様にお話を伺うことができています	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		保護者や家族支援の時間に話をする機会がある		
保 護 者 へ の 説 明 等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		契約時に一通り説明しているが、変更があったときには利用時に声をかけて伝えている	個人では行っていないが、管理者兼児発管が行っていると思う 無回答：1
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		モニタリングやアセスメントで行っている	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4		計画書を提示して説明を行い、同意を得られている	個人では行っていないが、管理者兼児発管が行っていると思う 無回答：1
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		家族支援の時間に入っている。その他の時間であっても適宜対応している	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	1	保護者会を開催している。イベント時にはきょうだいにも参加していただき、接点を作るように工夫している	保護者同士の機会はあったがきょうだい同士で交流する機会はなかった。保護者同士の交流も、機会はあったが交流が十分行われたかという、もう少し対応できてもいいかもしれない
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		家族支援の時間があるため、その時に話をしてくださる保護者様が多い。しかし個別に相談の要望をいただいたときは適切に対応している	
	41	定期的に通信等が発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		SNSを毎週更新し、更新したことを保護者様へ一斉配信でお知らせしている	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		法人内で個人情報取り扱いの研修を行い、意識を統一している	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		おさま一人一人に合わせて、大人が理解を深められるように、おさまが理解し、発信できるための環境の工夫と療育を実施している	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を行っているか。		5	招待することはないが自治会には入会している	事業所として何が出来るかを法人内でも話し合いたい
非 常 時 等 の 対 応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		保護者には配信でお知らせしたり書面で配布するなど周知するために工夫している。また、昨年の気づきから玄関に閲覧用の物を置いて誰でも閲覧できるようにしている	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		業務継続計画を策定し防災訓練も規定通り行っている	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		今は該当児童がいないが、注意が必要なおさまのことは保護者から話を詳しく聞き、職員同士で共有している	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		1	該当児童はありませんが、契約時に児発管が聞き取りをして職員に共有しています	食事の提供を行っていないため、指示書に基づく対応を行ったことがない 無回答：4
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	1	安全計画を作成し、必要な訓練を年間で計画し実施している	安全管理が十分かと言われると、十分ではないという気がする 無回答：1
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3		通常の注意喚起、掲示、お知らせは行っている	事業所で行っている安全確保の取り組みを保護者様へわかりやすく伝えられていないので、工夫が必要 無回答：2
	51	ヒヤリ/ハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		ヒヤリ/ハットの事業が起こった時はその日中に共有し、記録を取っている。職員会議でも共有し、対策を講じている	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		教室単位で半年に一度、法人全体で年に一度、合計二度の研修の機会を設けて取り組んでいる	研修を受けて理解しているが、無意識の行動や発言が虐待につながる可能性もあるため、普段から言葉遣いに気を付けるなど意識をする
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	1	契約時に保護者様に説明を行っている。やむを得ず身体拘束を行う場合には職員間で話し合いを行い、保護者様に同意を得るようにする	意図しなくても、身体拘束をしているように見える場面があった。職員が気づいたため、すぐに方法を変えて対応した。今後も意識して対応したい

事業所における自己評価総括表			
公表			
○事業所名	てらびあぼけつと西田辺教室		
○保護者評価実施期間	2024年9月17日		～ 2024年10月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	2024年10月1日		～ 2024年10月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2024年11月15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子さま一人一人に合った療育を提供できること	段階に沿って療育を進めることも大切ですが、お子さまの様子をよく見て、段階を下げる勇気を持つことも必要。独りよがりにならず、職員全員でお子さまを支えられる療育を心がけています	データをしっかり取りながらお子さまに無理な負荷をかけることなく柔軟に療育を進める。そのためにも職員同士で相談しながらプログラムを進める
2	保護者様との情報共有	家族支援の時間を利用ごとに設け、療育のフィードバックだけでなく、保護者様からご家庭での様子をうかがったり、幼稚園での様子をうかがうことができます	専門的な知識を身につけることや、解決の方法ばかりにとらわれず、保護者の気持ちに寄り添いながらお話を聞けるようにする
3	療育以外の保護者支援	教室独自のフリーペーパーを準備したり、動画の共有や、書籍の貸し出しなどを保護者様に行っている。その情報は教室内に大きく掲示をしたりSNSで公開したりするなど工夫をしている	フリーペーパーや書籍の内容が専門的になりすぎないように保護者の気持ちや困りごと、生活のヒントになるようなものに気を付けて準備する
	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	同じ取り組みを繰り返し行うことについての説明	何度も同じプログラム内容が繰り返されることがあり、保護者様には「また？」と思われることもあると思うので、適宜その必要性をお伝えしていきます	職員自身が何のためにやっているのかを把握して説明できるようにする(単にデータ上の%が達成していないからという認識で繰り返さない)
2	送迎について	事業所では送迎を行っておらず、保護者様をお願いしています。駐輪スペースが狭かったり、駐車場が近隣コインパーキングをご利用いただくなど、協力をお願いしている	近隣住民の方へのご迷惑にならないように、フィードバックの時間を工夫していきたい
3	課題の進行具合の説明について	専門的な言葉が多く、保護者様にはわかりにくいときがあるかもしれないので、保護者様にもわかりやすい言葉で説明ができるようにする	ことばだけでなく、実際の様子を動画や写真などに撮って見ていただいたり、実際の取り組みの様子を実演するなど具体的にお伝えする